

# 平成30年度第1回弘前市スポーツ推進審議会会議録

平成30年11月7日（水） 於 防災会議室

開会 午後3時35分

閉会 午後4時35分

## ○出席委員（7名）

水木厚美委員	福田由理子委員	小山内修委員
渡邊智委員	鹿内葵委員	工藤信敬委員
澤田晴美委員		

## ○出席理事者（6名）

市民文化スポーツ部長 三浦直美	文化スポーツ振興課長 粟嶋博美
文化スポーツ振興課長補佐 吉崎拓美	文化スポーツ振興課 スポーツ推進係長 工藤隆夫
文化スポーツ振興課主事 後藤祐介	文化スポーツ振興課主事 齋藤藍

↓ ————— ◁ ▷ ————— ↓

【午後3時35分 開会】

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） 皆さん、こんにちは。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、平成30年度弘前市スポーツ推進審議会を開催いたします。私は、本日司会を務めます、文化スポーツ振興課の吉崎と申します。よろしくお願いいたします。ではまず初めに、市長から皆様に委嘱状の交付を行います。お一人ずつ順番にお名前を読み上げますので、呼ばれましたら、その場でご起立のうえ、委嘱状をお受け取りくださるようお願いいたします。市長、円卓の中の方にお進みください。

《鹿内委員の到着が遅れているため、市長から他の出席委員6名へ委嘱状を交付。》

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） なお、本日、株式会社東奥日報社弘前市支社長 河田喜照様、弘前地区中学校体育連盟会長 矢田公夫様におかれましては、事前に欠席ということで通知をいただいておりますので、ご紹介のみとさせていただきます。それから、特定非営利活動法人スポネット弘前理事長の鹿内葵様におかれましては、後ほど出席されると思いますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして、委嘱状の交付を終了いたします。続きまして、市長からご挨拶を申し上げます。

《市長挨拶》

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） 申し訳ございませんが、市長がこの後、別の公務の出席ということで、ここで退席という事になりますのでご了承願いたいと思います。

《市長退席》

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） それでは、任期最初の会合でありますので、皆様方に本日出席の市の関係職員をご紹介いたします。

《理事者紹介。その後、配布資料の追加、一部差替えについて説明》

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） それでは、次第の4になります、組織会でございますが、そちらのほうに移ります。初めに会長を選任していただきます。会長選任の議事進行のために、まず仮議長を選出したいと思っておりますが、事務局案といたしましては、長年、当審議会の委員を務めておられます、水木厚美委員に仮議長をお願いしたいと思いますけれどもいかがでしょうか。

—異議なし—

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） ご異議が無いようですので、仮議長は水木委員をお願いいたします。お手数ですが、水木委員、中央の席の方へご移動願います。

《水木委員、仮議長席へ移動》

《鹿内委員が到着》

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） それでは、水木委員、議事の進行をお願いいたします。

○仮議長（水木厚美委員） それでは、仮議長といたしまして、議長が選任されるまで議事を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

それではまず、会長を選任したいと思います。

弘前市スポーツ推進審議会に関する条例第5条第2項の規定により、会長及び副会長は委員の互選によって定めることとなっております。

まず会長について、どなたか立候補又はご推薦等ございましたらお願いいたします。

○渡邊智委員 私が立候補するわけではありませんが、水木委員が適任かと思っておりますので引き続きお願いしたいと思います。

○仮議長（水木厚美委員） 皆さんいかがでしょうか。

—異議なし—

○仮議長（水木厚美委員） どうもありがとうございます。ただ今、私、水木を推薦する旨のご発言がありまして、ご賛同を得たことと思っております。

○文化スポーツ振興課課長補佐（吉崎拓美） 水木委員には、仮議長を務めていただきありがとうございます。弘前市スポーツ推進審議会に関する条例第6条第1項の規定により、会長が議長となることとされておりますので、引き続きとなりますが、水木会長に議事の進行をお願いいたします。

○市民文化スポーツ部長（三浦直美） その前に、鹿内委員が見えられましたので、委嘱状の方を交付させていただきたいと思っております。

《三浦部長から鹿内委員へ委嘱状を交付》

- 文化スポーツ振興課長補佐（吉崎拓美） それでは会長、議事の進行をお願いいたします。
- 会長（水木厚美委員） それでは、繰り返しになりますが、大変僭越ではございますが、会長を務めさせていただきたいと思っております。早速ですが、議事を進めてまいりたいと思っております。
- まず、会長に続いて、副会長を選任したいと思っておりますが、どなたか立候補またはご推薦をお願いいたします。
- 委員 会長一任
- 会長（水木厚美委員） 会長一任とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

—異議なし—

- 会長（水木厚美委員） 異議無しと認めまして、それでは私より、副会長を小山内委員にお願いしたいと思います。小山内委員、お引き受けいただけますでしょうか。
- 小山内修委員 はい、では謹んでお引き受けいたします。よろしくをお願いいたします。
- 会長（水木厚美委員） ありがとうございます。続きまして、会議録署名者について、私より指名させていただきます。会議録署名者については、福田委員、工藤委員ご両名を指名したいと思いますので、ご了承をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。
- ご了承を得たものとして、それでは、ただ今をもちまして組織会を終了いたします。
- 文化スポーツ振興課長補佐（吉崎拓美） それでは、続きまして、諮問書の提出に入りたいと思っております。本来であれば、市長から会長の方に提出するところでございますけれども、先程、別な公務出席のため退席いたしましたので、本日は代理で、三浦市民文化スポーツ部長から、水木会長へ諮問書を提出いたします。恐れ入りますが、こちらの前のほうにご移動くださるようお願いいたします。

《諮問書提出》

- 文化スポーツ振興課長補佐（吉崎拓美） それでは、引き続き、次第案件6の会議に入ります。会議の進行は、規定によりまして会長が議長となり進めることとなっております。水木会長、会議の進行のほど、よろしくお願いいたします。
- 会長（水木厚美委員） それではこれより、会議を開きます。ただ今の出席委員は、7名で定足数に達しております。よって、ただちに次第に沿って審議に入ります。
- まず、初めに、議事1の「弘前市スポーツ推進審議会の趣旨及び役割等について」、並びに議事2の「市のスポーツ活動の現状と課題について」事務局より説明をお願いします。

《議事1 弘前市スポーツ推進審議会の趣旨及び役割等について説明》

《議事2 市のスポーツ活動の現状と課題について説明》

- 会長（水木厚美委員） ありがとうございます。ただ今の議事2つについての説明に対して、ご意見、ご質問ございましたらお願いします。
- 鹿内葵委員 4ページの「スポーツ・レクリエーション活動の推進」は、今後の方針ということでしょうか。
- 文化スポーツ振興課主事（後藤祐介） これについては、これまでやってきた事業についてご説明させて頂いております。
- 鹿内葵委員 今後の方針については、スポーツ推進計画などに何か出てくるということですか。
- 文化スポーツ振興課主事（後藤祐介） そのように考えております。
- 鹿内葵委員 わかりました。アンケートで結構子どもたちのスポーツ離れとか、やる機会がないとか、保護者の負担という部分が入ってきています。これからの目標ではないとのことですが、

こうして見ているとジュニア強化の育成とかプロスポーツ誘致など、どちらかという競技力向上の方が強いのかなと思います。それも大事だと思いますが、スポーツ環境整備とか、どうスポーツをやれる環境を作っていくのが非常に大事になってくると思うので、そういう方向性などを今後の計画を入れてほしいと思います。

○会長（水木厚美委員） いいですか。ほかにご意見ご質問は。

○文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） 今、鹿内委員がおっしゃった意見について、今後のスポーツ推進計画の見直しの中に入れ込んでいきたいと思いますので、今後審議して下さるようお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○会長（水木厚美委員） ありがとうございます。ほかにありましたらどうぞ。

—意見・質問なし—

○会長（水木厚美委員） よろしいですか。それではご意見が無いようですので、次に議事3の案件に入りたいと思います。まず案件1の平成31年度弘前市補助金交付計画についてであります。先ほど弘前市より諮問されました事案であります。これは、弘前市が、スポーツ団体等に対して交付を予定している補助金について、趣旨及び目的が適正であるかを審議していただくものであります。それでは、この計画内容について、事務局からの説明をお願いします。

《議事3 案件1 平成31年度補助金交付計画について説明》

○会長（水木厚美委員） ありがとうございます。それではただ今の説明に対してのご質問、ご意見はございませんでしょうか。

○澤田晴美委員 この補助金は継続事業ということですが、補助事業者からの、いわゆる申請に基づいたものでしょうか。

○文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） 委員おっしゃるとおり、事業者からの申請により補助金を交付しているものであります。

○澤田晴美委員 青森県のジュニアアルペンスキー大会とジャイアントスラロームは岩木スキークラブで担当している事業ですが、実はそうまロマンチピアスキー場でも県内で唯一のジュニアのスラローム、いわゆる小回りの大会をやっています。岩木よりは遅く、スキー場の規模も小さいが、相馬の大会も相当前からのジュニアの育成事業としてやっています。補助金は申請されなければ出ないのでしょうか、それとも今まで継続しているからここに出てきているものなのでしょうか。

○文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） ただいま澤田委員がおっしゃった相馬のスラローム大会については、こちらでも大会について把握しておらず、今初めて分かった次第ですので、今後運営経費について団体の方から要望があれば検討していくことになるかと思ひます。

○鹿内葵委員 毎年言っていますが、岩木地区と相馬地区の体協について、個人的には今後、合併先である市の体育協会に補助金を出して、それを内部でどう分配するかでいいと思ひますが、長期的にどういう計画なのでしょう。このままずっと岩木地区と相馬地区に補助金を交付するのか、補助金を一体何に使っているのかなどが気になりました。

○文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） 合併前の旧岩木町、旧相馬村時代からそれぞれの地区で体育活動、スポーツ振興にかかる活動を行っており、市町村合併後も岩木地区、相馬地区の体協に事業費として補助金を交付しております。弘前市体育協会に交付している補助金と統合することについては、まだ協議に入っていないという状況となっております。

○文化スポーツ振興課長（工藤隆夫） 具体的には各地区、岩木、相馬地区のスポーツ大会を行っており、その事業費に充てているという状況となっております。

- 鹿内葵委員** 弘前地区でも各町会や地区体協が運動会を行っていて、それと一緒に思うので、その中身を考えると市体協と一緒にいいのかなと思います。特別この地区だけ何かやっているというのであればいいとは思いますが。
- 市民文化スポーツ部長（三浦直美）** 市町村合併という事で行けば、岩木地区と相馬地区に補助金を交付することは分かる話だと思います。ただ体協同士の話となると、それぞれの考え方や運営費などを統一することについて考えなければいけないと思います。平成18年2月の合併から12年が経過し、少しずつ市町村合併から脱却しつつあるものの、まだ各々の体協さんで活動しているというのが実態です。今後、体育協会が一体となり、弘前市全体でスポーツの振興が図られるようになれば、市と体協の両輪で市のスポーツ振興が図られていくと思います。今はまだその段階まで行っていないですが、いずれ考え方を統一していかなければいけないのかなと思います。
- 鹿内葵委員** 澤田委員からもあったと思いますが、競技団体に補助金を出すときには、公正、公平であるというのが大事になってくるので、補助金を出すことは悪いことではないと思いますが、一輪車など一つの種目に絞ると、他の種目から「何でうちには出してくれないのか」となることが予想されます。例えば、市として推進計画の中で野球とソフトに力を入れているといったように、各競技団体や一つの種目に補助金を出す際にきちんと説明できる明確な理由があればいいと思います。
- 文化スポーツ振興課長（粟嶋博美）** 補助金の説明の関係については、それぞれの補助金に対して補助金交付要綱というものを定めており、その要綱の中に交付する目的を示して交付しております。
- 会長（水木厚美委員）** 他にございませんか。
- 鹿内葵委員** 3ページ目、スポレク祭について確認ですが、去年で10年目なので一回節目ということにして、もう一度新しい形を考えようということで今年度また実施したと思っていますが、結局話し合う機会がないまま各団体に補助金を出す形になりました。担当の方には、スポレク祭をやる意義などについてちゃんと話し合う場を設けてほしいとお話ししましたが実現しませんでした。市から予算が出ている以上、きちんと中身のあるものになってほしいと思っています。元々スポレク祭を始めた時は、体育の日ということもあり、競技団体に補助金を出すのではなく、一般のスポーツをやったことが無い人達のためにやっという趣旨で始めたと思っていますが、サスケや抽選会が無くなるなどどんどん縮小して行って、かつ競技団体に補助金を出しているだけの状態になっているので、昔のスポーツフェスティバルと同じような形に戻ってきている気がします。もし来年度やるのであれば、もう一度関係者が集まって、どういう形で何のためにやるかというところから話し合っ、せつかくやるなら良いものを作ってほしいなと思うので、その辺検討していただければと思います。
- 文化スポーツ振興課スポーツ推進係長（工藤隆夫）** 昨年までのスポレク祭は実行委員会を組織し、そちらに市から負担金を支出して、実行委員会を組織する団体だけがスポレク祭に参加できる形になっていました。今年、実行委員会を解散し、運営団体の方に補助金を出すという形に変えたのは、実行委員会の枠を取り払い、弾力的に対応できるようにしたいという意味でありましたが、募集の段階で十分な周知が図られなかったかもしれませんので、来年度に向けて、その辺を課題の一つとして十分に検討し、色々な団体の方に補助金を使っただけのように検討していきたいと思っています。
- 鹿内葵委員** あまり言いたくないですが、団体が自分たちで参加費を集めてできる種目もあると思うので、団体に補助金を使うというよりも、予算を一極集中して何か面白いことをやってもいいのかなと思います。今年の場合だと、補助金をいくら出すのでそれで何かやっってくださいという感じがして、弘前市のスポーツを一丸となって盛り上げようという雰囲気ではなかったもので、そのワンステップ前のアイデア出しのところから関係者が集まる場があればいいなと思います。

- 文化スポーツ振興課スポーツ推進係長（工藤隆夫） その辺も含めて検討いたします。ご協力よろしくをお願いします。
- 会長（水木厚美委員） はい、他にどうぞ。
- 鹿内葵委員 アップルマラソンは補助金ではないのですか。
- 文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） アップルマラソンは負担金として支出しておりますので、この補助金の中には含まれておりません。
- 鹿内葵委員 各体育施設にいるスポーツ指導員は。
- 文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） 非常勤職員ですので、報酬として支払っております。
- 会長（水木厚美委員） 他にございませんか。
- 鹿内葵委員 障がい者スポーツ支援事業を今年から始めて、非常に楽しみだと思っておりますが、今回集まった時に、補助金をどう使おうかという話から入っていきました。これだとまたバラ撒きのようになってしまう感じなので、個人的には障がい者スポーツの環境整備についての市としての方針など筋道を立てたうえでこの補助金という感じかなと思います。今募集していると思いますが、パラリンピックなども含めた障がい者スポーツについての市としてのビジョンを示して欲しい。そのうえでこの補助金を使って、市民の団体とどうやっていくかということだと思えます。
- 文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） その辺につきましては、詳細についてきちんと検討してお示ししたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。
- 会長（水木厚美委員） 我々のこの審議会は建議をする、意見を申し出るという場で、決定機関ではないので、活発なご意見ありがとうございます。他にご意見が無いようですので、平成31年度補助金交付計画についてご異議ありませんか。

—異議なし—

- 会長（水木厚美委員） ご異議なしの声がありました。それでは、この原案は適正であると認めて、意見無しとして市長に建議することといたします。続いて、次に案件2の「日程について」につきまして事務局から説明をお願いします。

#### 《議事3 案件2 日程について説明》

- 会長（水木厚美委員） ありがとうございます。ただ今の説明に対しましてのご意見、ご質問をお願いします。
- 鹿内葵委員 推進計画ですが、前に作ったものはどうなったのでしょうか。
- 文化スポーツ振興課長（粟嶋博美） 先ほど事務局の方からもお話ししましたが、今市長が変わり、次期総合計画を見直ししている最中ですので、その見直し作業の過程の中で、スポーツ推進計画の素案に変更部分があれば修正して、今後の審議会に提案し、みなさんに審議していただく予定としております。
- 鹿内葵委員 それはまた次回出てくるのでしょうか。
- 市民文化スポーツ部長（三浦直美） 18ページ見て頂ければと思います。18ページにスポーツ推進計画の策定について補足という文言を入れております。今年の第3回のところまでで終わっておりまして、その後修正案をもって市長、副市長のところにレクという形になりましたが、今課長言ったように次期総合計画自体が策定中ということもあり、それとスポーツ推進計画との整合性を図らないと、計画自体が止まってしまうという事もありますので、まずちゃんと整合をとり、来年1月下旬にその素案の修正案についてご審議していただく予定です。3月の下旬には次期総合計画が議会で議決されますので、それを受けて4月にパブリックコメントを実施し、庁

内調整したうえで、6月下旬の平成31年度第1回スポーツ審議会でもスポーツ推進計画の建議をいただき、それをもって市長に建議書という形で終わるといふ事になります。従って、最終的には早ければ7月、若しくは多少の微調整があれば8月頃にスポーツ推進計画策定ということになり、この中に、先ほど鹿内委員がおっしゃった障がい者スポーツのビジョンを盛り込んだものを示せるのではないかなと思っております。

○会長（水木厚美委員） ありがとうございます。それでは他にありましたらどうぞ。

—意見・質問なし—

○会長（水木厚美委員） ご意見があと無いようでございますが、ただ今の日程についてご異議ございませんか。

—異議なし—

○会長（水木厚美委員） それでは意見が無いようですので、事務局からその他について何かご説明ありましたらお願いします。


○市民文化スポーツ部長（三浦直美） ここで今の推進計画の補足について話そうと思っておりましたが、先に出てしまいましたので、他に事務局の案件はございません。

○会長（水木厚美委員） それでは本日の案件、議案、これで審議を終わりたいと思いますがよろしいですね。これをもって、平成30年度の第1回の弘前市スポーツ推進審議会を終了という事になります。皆様大変ご協力ありがとうございました。

【午後4時35分 閉会】

以上のおおり、議事と相違ありません。

平成30年12月13日

署名者 福田 由理子  印

署名者 工藤 信敬  印